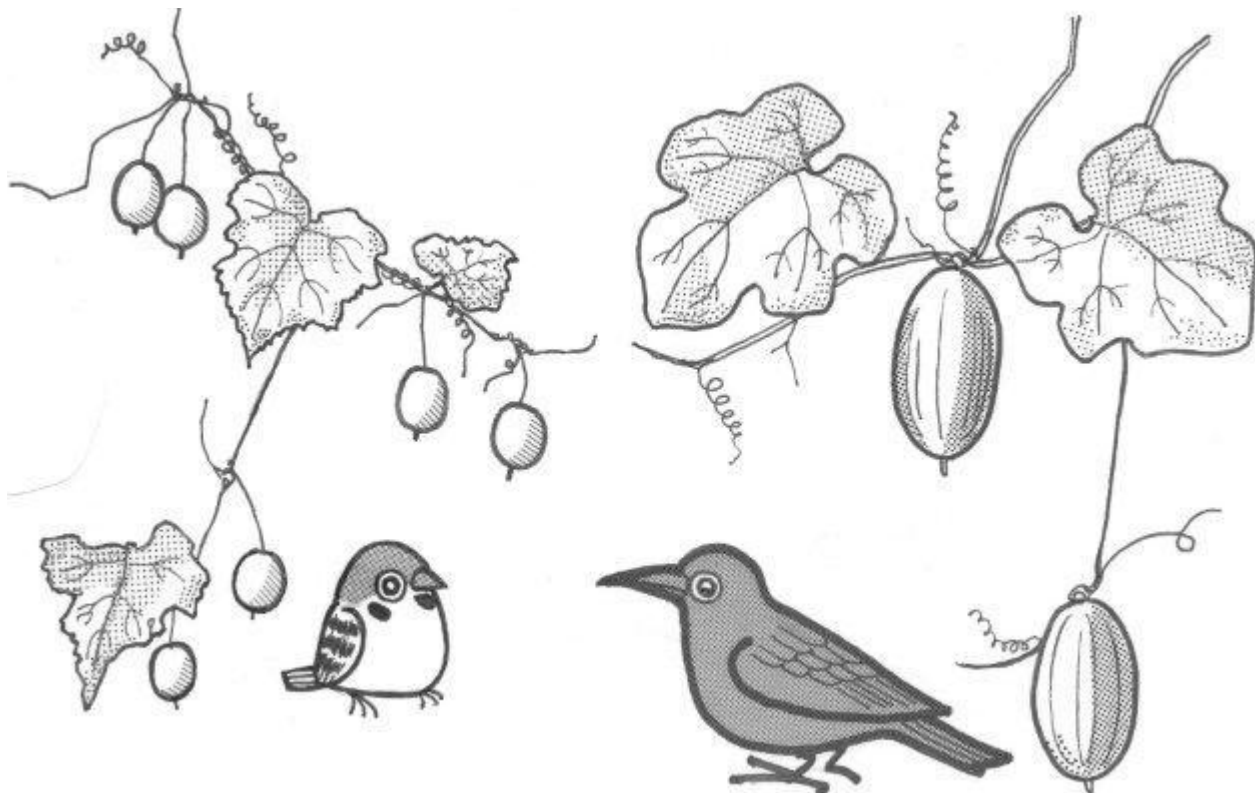




ゴロスケ報々



「どっちがなに？カラスウリとスズメウリ」

●事務局からのお知らせ●

友の会行事のお知らせ

- ・「森のボランティアまつり」10月27日 10:00~13:40
友の会会員の皆さんにはスタッフとして、また参加者としておいでください。(スタッフ集合9:30センター前)
- ・「望年会」を12月23日(月・祝)9:00~14:00の予定で実施します。今年もごみハイ、餅つき、豚汁などを計画しています。友の会の会員のみなさん、1年に1回の友の会全体のイベントです。参加をお待ちしています。
- ・今年も野鳥の会カレンダーを販売します。販売予定部数は150部です。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●＜定例活動の報告＞ 森の絵本づくりの会 ●

夏の森の夜

昨年、絵本”森からのおねがい”が完成し、次の作品について話し合いをすすめているときカラスウリの花を見るナイトウオークをしてみようということになり、8月の始めと下旬に2度実施しました。

それはとても感動的な数々の出会いがありましたので、その後の話し合いにより夏の夜を題材にした絵本をつくることになりました。今まで、登場させるもの、話しの順番、絵コンテと進めてきました。そして、この9月から一人ずつ下絵を描き始めました。

ナイトウオークで夏の夜の森をもう一度しっかり観察したかったので今年も実施しました。

8月20日（火）18時に森の家をスタートするとセミがにぎやかに鳴いていました。

昨年8月始めのナイトウオークでは偶然にもホテル調査の方とお会いしてミズスマシの池まで一緒しました。ホテルにも会えました。今年はチーフレンジャーの古南さんと合流しました。

私たちはカラスウリ街道（メンバーの一人が命名しました）を進みました。カラスウリは白いかたまりを少しづつ開きはじめていました。

夕暮れの空にはアブラコウモリの群れがへろへろと飛んでいて歓迎のあいさつでしょうか！

炭小屋と畑をすぎ桜林からミズスマシの池へと歩く道々にはアオマツムシ・カネタタキ・ミツカドコオロギ・クツワムシ・クサキリなど秋の虫で賑わっていました。クツワムシの鳴き声はがちゃがちゃがちゃがちゃって大きい声です。

夜に網をはり朝には網をたたむ小さなクモ。会いたかったワキグロサツマノミダマシではなくサツマノミダマシはきれいな緑色ときれいな網の巣でした。どんな虫が網にかかるんでしょうね。

懐中電灯の光を足元に照らすとたくさんの小さな小さな虫たちがぐるぐる舞っていました。

ミズスマシの池の前のテーブルの淵を歩くアブラゼミの5令幼虫にビックリしました。

それまで抜け殻でしかお目にかかっていませんでしたから。鎧があるいてるみたいなんですよ。

引き上げる前に探すとじっとしている先ほどの個体に会いました。背中がわれるところからからだをそりかえし、足の先まで抜ける。おきかえって、前足で殻につかまるところまで観察することができました。桜林ではその後の羽がのびていくとこに出会いました。

私たちが森を歩いていた21時半ごろまでは満月前夜ながら朧月でした。満月が森を照らしたらどんなでしょうね。

ウスバカゲロウの成虫がひらひら舞っていました。とてもきれいな羽をでした。クズは葉を閉じて眠っていました。

カラスウリはみごとに白いレースの花を咲かせていました。花の蜜をもとめてくるスズメガには今年も会えませんでした。ちょっとがっかりしていると古南さんが待っていれば会えると言われました。

そうか、待っていれば会えるんですね。でも、バスの時間だわ。帰らないと。楽しかったわ。

今年の夏の森の夜も素敵な出会いと感動でいっぱいでした。

森の絵本づくりの会 しかま

森からの恵み

雑木林ファンクラブでは「いきもののにぎわいのある森」作りの為、横浜自然観察の森で主に下草刈り、間伐、炭焼きの活動をしております。

その結果として、下草刈りをすると色々な草花が芽を出し、来園者の目を楽しませておりますが、下草刈りを怠ると芽生えていた草花が減少していきます。最近の具体例としては1年間草刈りをしていなかったクヌギ林では、数多く咲いていた「野カンゾウ」が減少しております。今年はクヌギ林全体の草刈りを実施し多くの草花から恵みをもらいたい。

間伐材を利用したの恵みは多くあります。

炭小屋エリアにある建物・造作物のほとんどは森での間伐材を利用したものです。

数は減ってしまいましたが来園者に優しい「木のベンチ」も間伐材の利用です。

また、会員によるクラフト作りも楽しい活動です。

犬・トナカイ・リス・フクロウの置物、プランター、色々な形をした鉢置き、巣箱、カッティングボード、靴べら、孫の手、竹を利用した竹馬・ポックリ・水鉄砲・竹トンボ・バランストンボ・一輪挿し・竹の器、鉛筆立て、鍋敷き、サイコロ、まな板、コースター、アルプホルン、一輪車等数多く作っています。

直近の作品ではケヤキの皮で作ったランプシェードがあり、味わいのあるものです。

炭焼きは、観察の森には存在しなかった外来種や園芸種を除伐して炭材とし、8月を除き毎月実施する予定です。炭焼きにはドラム缶窯では7時間、本窯は30時間以上の燃烧時間が必要となります。その結果、木炭、竹炭が出来上がり、煙突の煙からは木酢液、竹酢液の恵みをもらっています。

これからも多くの恵みを頂くためにも工夫した活動を実施していきたいと思っています。

雑木林ファンクラブ 大越

●「森を守る作業体験」間伐 報告●

7/27「森を守る作業体験」

参加者は5名でクヌギ林で紅葉を2本伐倒しました。

皆さん初めての経験で、苦労しながら鋸を使っての作業でした。

●ミスキの池ハイド前の環境整備を行いました●

1. 日時 平成25年9月1日(日) 10時~11時30分

2. 参加者 スタッフ4名 会員参加者0名

8月中旬以降、カワセミの2番子が姿を見せており、姿があれば作業開始を遅らせるか、と考えていましたが、幸い姿は見えなかったのですが、代わりにアオサギが魚を探していた為、急遽作業開始が15分ほど遅れるハプニングがありました。しかしKFCメンバー4名と応援を頂いた齋藤レンジャーの協力で、残暑は厳しかったのですが、実作業時間は1時間も掛からずにハイド前の草刈は終了。池の眺望はとても良くなりましたので、皆さん方もハイドに是非お立ち寄り下さい。

KFC 大浦

友の会行事のお知らせ

●「森を守る作業体験」草刈り●

11/23(土) 9:30~12:00

対象:小学生以上、どなたでも (※小学生には成人同伴者が必要)

申込:自然観察センターにご連絡下さい

持ち物:飲料、長袖、長ズボン、帽子、手袋(イボ月軍手、ゴム手袋など)、汗ふきタオル

集合場所:自然観察センター前

担当:雑木林ファンクラブ

●「身近な自然の案内人講座」参加者募集●

「身近な自然の案内人講座」は、ボランティア自身による体験型の自然案内人(インタープリター)養成講座として毎年開催しています。

この講座は、特定の生きものの勉強会でなく、私たちのくらしのそばにある身近な自然や生きものを対象に、どのようなフィールドや季節でも応用できる観察プログラムの組み立てプロセスを、実習やワークショップで身につけるものです。

既に基礎的な環境保全や自然観察の活動をしている方が受講者が実践力を高める場という位置づけを想定していますが、自然案内に関心のある方であれば、どなたでも参加いただけます。

★プログラム概要

期日: 2013年11月30日(土)・12月1日(日) どちらも9時30分~16時

二日間の連続講座(雨天決行)

一日目「自然のメッセージを受け取る」 二日目「自然のメッセージを伝える」

場所: 横浜自然観察の森 観察センター (WEB検索: 横浜自然観察の森)

定員: 20名程度

参加費: 1000円/二日間

★申し込み、問い合わせ 【締切: 11月24日(日)】

電子メール charlieonearth@c3-net.ne.jp または 090-8176-6409 (留守録対応)

氏名、住所、電話、メールアドレス、受講動機

★準備するもの

動きやすい服装と靴、帽子、雨具、弁当、水筒、筆記具

担当: 森の案内人・ハンミョウの会

観察センターからのお知らせ

 **つながりの森を歩いてみよう** 

上郷・森の家 横浜自然観察の森 金沢動物園

3施設企画

ー紅葉の円海山プチ・ハイカー

～横浜つながりの森オリエンテーリング～

円海山域の3施設で開催！ワークシートを持ちながら、金沢自然公園-横浜自然観察の森までの道を歩いて10個のクイズにチャレンジ！

◆期間：11月1日（金）

～12月1日（日）

◆全部できたら各施設のオリジナルグッズをプレゼント！（先着150名です）

◆ワークシート配布場所

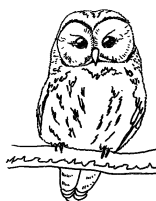
上郷森の家・金沢動物園・ののほな館・横浜自然観察の森

◆プレゼント引き換え場所

横浜自然観察の森・ののほな館

紅葉の森を

楽しくハイキングしてみませんか？



横浜つながりの森

スタンプラリー

～自然いっぱい

「横浜つながりの森」をめぐる～

金沢自然公園、横浜自然観察の森、上郷・森の家がある「横浜つながりの森」は、多摩から三浦半島へと続く「多摩・三浦丘陵郡」の一部をなしています。3つの施設をめぐるスタンプを集めよう！

◆期間：10月1日（火）

～11月30日（土）

◆スタンプを3つ以上そろえると、ランチョンマットをプレゼント。

◆プレゼント引き換え場所（詳細はHPをご確認下さい）

栄区役所 区政推進課 企画調整係

栄公会堂 事務所受付

金沢区役所 区政推進課 企画調整係

金沢区民活動センター「ゆめかもん」

横浜駅観光案内所

◆詳細はこちらをご覧ください↓

<http://www.city.yokohama.lg.jp/bunka/outline/miryoku/stamprally.html>

◆主催：横浜市文化観光局横浜魅力づくり室



【これからの保安全管理関連のお知らせ】

■ 桜林の検討会 ■

会員の方ならどなたでも参加可能です！

【第3回】11月16日（土）14：00～16：00 研修室、桜林にて

内容：具体的名実行計画の検討 等（予定）

★友の会会員の方はどなたでもご参加できます。

お申込は前々日までに自然観察センターレンジャーへ。

電話：045-894-7474 E-mail：yokohama-nc@wbsi.org

担当：古南（こみなみ）



【保安全管理関連のご報告】

保安全管理の勉強会

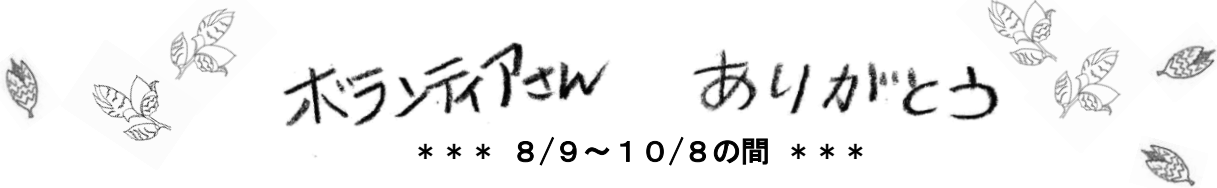
～バッタ・キリギリスの勉強会 補講～

- 日時: 9月16日(土)13:00～16:00
- 講師: 槐真史さん(厚木市郷土資料館)
- 参加者: 13名、横浜市みどりアップ推進課2名、レンジャー3名
- 内容: 7月の勉強会の続編。バッタ・キリギリス類を10分間捕獲し、2カ所でその種類と数を調べてみました。桜林(450㎡)ではオンブバッタ、コバネイナゴ等5種28個体、ピクニック広場(330㎡)ではオンブバッタ、ホシササキ等12種77個体。かなりの違いが出ました。この方法は樹上性のアオマツムシや捕まえにくいコオロギ類はカウントできていないため、ピーティングやマーキング等で補う方法があることも学びました。

桜林の検討会

- 日時: 9月21日(土)14:00～16:00
- 出席者: 7名、横浜市みどりアップ推進課2名、レンジャー2名
- 内容: 桜林の管理計画を考える検討会の第2回。前回確認した生物相を踏まえて、病気にかかっているソメイヨシノや外来種の常緑樹は伐採、整理していくことを大方針として確認しました。その他に次のような意見も出されました: 利用者のアメニティ(日当たりなど)も考慮したい。観察資源として外来種を残す場合は最低限とすること。伐採後に植樹するかそのまま様子を見るかは、両方あってよい。今後、具体的にどの木を残しどの木を伐っていくかを検討するために、現地の樹木の位置図を作り、検討していくこととしました。

こみなみ



- 8/10 漆原弘光さん いきものを知る守るシリーズサポート
- 8/13 秋元文雄さん 緊急救助訓練の記録提供
- 8/18 小代彩可さん シランの選択的草刈活動協力
- 8/24 雑木林ファンクラブのみなさま ケヤキのおもちゃの提供
- 8/下旬 カワセミファンクラブ大浦晴壽さん タウンニュース掲載記事の原稿及び写真の提供
- 9/7 雑木林ファンクラブのみなさま 車庫内荷物の整理及び移動への協力
村松古明さん いきものを知る守るシリーズサポート
- 9/14 雑木林ファンクラブのみなさま トイレ消臭用竹炭の提供
- 9/21 漆原弘光さん いきものを知る守るシリーズサポート
中里幹久さん 雑木林ファンクラブのみなさま 車庫内荷物の整理及び移動へのご協力
桜林の検討会にご出席いただいたみなさま
- 9/22 大越哲朗さん 展示用どんぐりの提供
- 9/23 保安全管理勉強会にご出席いただいたみなさま
- 9/下旬 カワセミファンクラブ板垣昭平さん タウンニュース掲載用写真の提供
- 10/1 篠原由紀子さん 八田文子さん 山路智恵子さん 上原明子さん 保安全管理計画勉強会の下見協力
- 8/9-10/8 カワセミファンクラブのみなさま 展示用野鳥・昆虫写真の提供、自然情報の提供
- 8/9-10/8 野草の調査と保護事務局内調査グループのみなさま 自然情報の提供

みなさま たくさんのご協力、ありがとうございました

作成: 森 初恵 イラスト: 大久保香苗・森初恵

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

行事スケジュール 10月～12月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

●森のボランティアまつり →1ページ参照
10/27(日) 10:00～13:40

●定点カメラで動物調査

11/9(土) 9:30～12:00
調査は友の会会員向け。11時からの写真チェックは、市民どなたでも参加できます。
雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。
調査に参加される会員は、汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。
5～11月の毎月第2土曜日。ごろすけ館集合。

●森を守る作業体験 草刈り →5ページ参照

11/23(土) 9:30～12:00
対象：小学生以上 ※小学生には成人同伴者が必要
申込：自然観察センターにご連絡下さい

●自然案内人講座 →5ページ参照

11/30(土)、12/1(日)
二日間の連続講座(雨天決行)
申込：必要(5ページ参照) 参加費：1000円

●望年会 →1ページ参照

12/23(月・祝) 9:00～14:00

■にぎわいの森を歩くバードウォッチング

日時：2013年11月10日(日) 9:00～13:00
雨天決行(室内でのお話になります)。
対象：どなたでも！初心者歓迎
内容：モズの高鳴きを聞きながら森をあるきませんか？日本野鳥の会神奈川支部リーダーがご案内。
初心者・家族づれでもお楽しみいただけます。
申込：なし(当日直接センターへ)
持ち物：お弁当・飲み物・あれば双眼鏡と図鑑(貸し出し可。ただし数に限りがあります。)
担当：自然観察センター

■いきものを知る守るシリーズ

～林のパトロール隊になろう～

日時：2013年12月7日(土) 10:00～15:00
雨天 12/21 に延期。
対象：小学生とその保護者 40名(申込多数の場合は抽選) 11/23日締切
内容：森に暮らすいきものを調べ、守るための方法を考えます。
申込：事前申込制(詳細はHP参照)
担当：自然観察センター

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～
12/15(日) 9:30～14:00
受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも 雨天催行
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
11/3(日)・12/1(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
12/8(日)
9:00～13:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～自然をテーマにした絵本づくり～
11/20(水)・12/18(水)
10:00～12:00 絵本製作
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
10/26(土)・11/23(土)・12/14(土)
1回目 13:00～ 2回目 14:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2013年10月20日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

http://www.geocities.jp/yns_tomo/

E-mail:yns_jimu@yahoo.co.jp

【この会報は、友の会ボランティアによって作られています】

《全頁無断転載を禁じます》

次回：定例会 11/17(日)、原稿締切 11/23(土)、発送 12/15(日) (発送担当：PJ-STRIX)